

2026 年度 博士前期課程入学者選抜【一般選抜】の選抜方法について 経営学研究科 経営学専攻 経済学プログラム 筆答試問について

2026 年度の筆答試問は、以下の通りです。詳細は、後日公開される募集要項を必ず確認してください。

2026 年度

<筆答試問の受験方法について>

経済学プロジェクトを希望する者は、下記 a)を必ず受験すること。さらに、b), c) の区分のうち一つ以上を選択して受験することができる。複数の区分で受験した場合は、最も得点の高いものを筆答試問の得点とする。

- a)科目試験の「数学」(当日受験)
- b)外部試験の「経済学検定試験」
- c)外部試験の「統計検定」

経済史プロジェクトを希望する者は、下記 a), b) の区分のうち一つ以上を選択して受験すること。複数の区分で受験した場合には、最も得点の高いものを筆答試問の得点とする。

- a)科目試験の「経済史」(当日受験)
- b)外部試験の「経済学検定試験」

参考 2025 年度入試要項 (注記を省いています)

<筆答試問の受験方法について>

経済学プロジェクトを希望する者は、下記 a), b), c) の区分のうち一つ以上を選択して受験すること。複数の区分で受験した場合には、最も得点の高いものを筆答試問の得点とする。

- a)科目試験の「数学」(当日受験)
- b)外部試験の「経済学検定試験」
- c)外部試験の「統計検定」

経済史プロジェクトを希望する者は、下記 a), b) の区分のうち一つ以上を選択して受験すること。複数の区分で受験した場合には、最も得点の高いものを筆答試問の得点とする。

- a)科目試験の「経済史」(当日受験)
- b)外部試験の「経済学検定試験」

以上